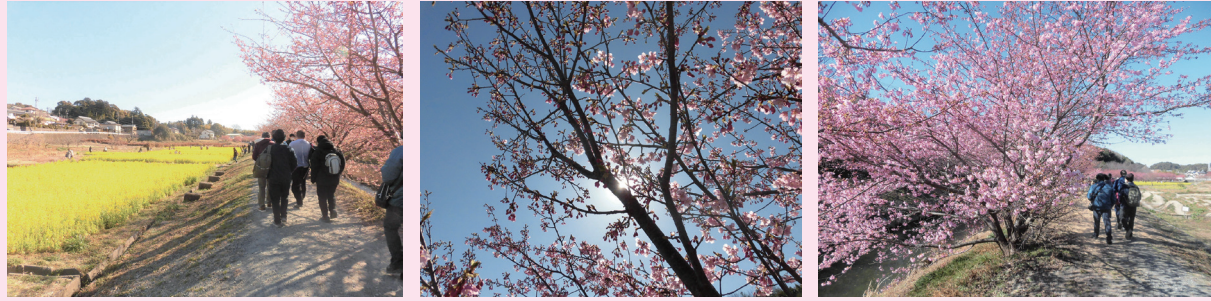


河津桜と菜の花畑散策

生活訓練ナルド・地域活動ナルド 外出企画

2月26日(日)は地域活動ナルド、2月27日(月)は生活訓練ナルドが、それぞれ外出企画で大山町の河津桜祭りに行ってきました。到着後から桜にくぎ付けになるご利用者の皆様。桜のトンネルをくぐり抜けると、色鮮やかな黄色の絨毯のような菜の花畑にも遭遇しました。咲き誇る花々を写真に収め、「もうすぐ来る春が待ち遠しい…」と空を見上げると、ピンク色に染まった花卉が、ひらひらと舞い落ちてきました。喜ぶご利用者の姿を見て、職員もほっこり笑顔になりました。



ご援助とご奉仕 ありがとうございます

◆ご援助いただいた方々 (敬称略・順不同)

(令和5年2月1日～令和5年4月30日)

渥美穎司、岩品勝久、大箸浩之、小澤幸栄、小杉みや子、斉藤武夫、志村俊身、鈴木健心、鈴木秀長、鈴木國松、高山利孝、本榎義治、藤沢俊光、松本五百子、山田八重、(株)エムドゥエム、細江湖東簡易郵便局、ユニヴァーサル商事(株)、匿名1名、寄付金箱

合計 225,408円

◆ご奉仕のかずかず (敬称略・順不同)

(令和5年2月1日～令和5年4月30日)

- 信生寮・まじわりの家
新型コロナウイルス感染予防のため、ご遠慮いただいております。
- 讃栄寮
新型コロナウイルス感染予防のため、ご遠慮いただいております。
- 礼拝奉仕者
赤井伸之、大橋茉莉那、大倉和子、倉持おりふ、小島啓史、児玉ゆき子、長谷川佳子、浜名明典、平井章、平松實人、星野健、三輪保志、三輪尚士、望月明

苦情解決報告

聖隷厚生園讃栄では、施設の苦情解決を適切に行うことにより福祉サービスの質を高め利用者の満足度や信頼性を確保・向上させ利用者の権利を守ることを目的として、苦情の受付体制を整えております。

令和4年10月1日～令和4年12月31日の期間、公表する苦情はありませんでした。

「聖隷障がい福祉事業を育てる会」へのご支援について

郵便振替口座 00880-6-15517 「聖隷厚生園」

「聖隷障がい福祉事業を育てる会」は、厚生園の福祉活動が健全に継続・発展するように、助言や支援をしていくために発足しました。これからも厚生園が地域福祉推進の拠点として、その役割を担う為の取り組みをサポートしていきたいと考えております。ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。戴いたご寄付は、聖隷厚生園の福祉活動にあてられます。

厚生園だより

まじわり

164

2023.5 発行

●2023 年度事業計画

- NEW FACE ●ドーナツ企画 ●いちごフェア
- ビューティー企画 ●節分企画 ●遠足
- 厚生園の動き ●河津桜と菜の花畑散策

うがハビ♡デコロード



傷ついた葦を折ることなく
ほのぐらい灯心を消すことなく
真実をもって道をしめす

(イザヤ書42章3節)

編集後記

初めての編集委員活動を通して、ご利用者様、職員のみなさんのいろいろな表情、様子をお伝えしていきたいです。よろしくお願ひします！(I.Y)

静岡県浜松市北区細江町中川7220-1 電話 053(437)4511 FAX 053(437)4526

●編集:「まじわり」編集委員会 ●編集責任者:村田孝弘 ●後援団体:聖隷障がい福祉事業を育てる会



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

聖隷厚生園讃栄 聖隷厚生園信生 聖隷厚生園ナルド工房

2023年度 事業計画

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷厚生園信生

障害者支援施設聖隷厚生園信生寮 聖隷厚生園まじわりの家
訪問看護ステーション細江 聖隷ケアプランセンター細江 聖隷ヘルパーセンター浜松北



村田 孝弘

2023年も引き続き医療と介護・福祉の連携強化を行い、コロナ禍でも利用される方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、一体的な事業展開を目指す。

聖隷厚生園信生寮では、廃用性による身体機能の低下を予防するとともに、利用者の“やりたい”を支援する取り組みを行う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が続き、利用者や職員がお互いの気持ちを分かち合う機会が減り、それが利用者・職員の情緒・感情的負担感を増大させている原因だと考えられる。コロナ時代に適した新たな交流機会を作る。

在宅部門においては、利用者が望む地域生活が選択できるように、介護保険、障害福祉分野との連携強化を継続し、地域の多様なニーズに対応できる事業運営を目指す。

- 【経営方針】**
1. 利用者が楽しく安心して尊厳のある生活ができる支援を行う
 2. 地域課題の解決に向けた取り組み
 3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
 4. 介護人材の確保と育成の取り組み
 5. 災害時対策・地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者が楽しく安心して尊厳ある生活ができる支援を行う
(ア)身体機能の廃用性や生活意欲の減退を防ぐため、介護過程に基づいた利用者の“できる”を引き出す個別支援を多職種協同で行う。
(イ)処遇困難ケースについて、グループスーパービジョンを行う。困難となっている原因を職員同士で分かち合い、利用者とのかわり方を模索する。
(ウ)虐待防止セルフチェック表を年2回実施し、利用者の尊厳を守る取り組みを行う。
(エ)感染予防に配慮して、利用者や職員が外出の機会を作り、楽しい時間を共に分かち合う。
(オ)コロナ時代に適した利用者、家族、職員がつながる新しい交流の機会を創造する。
(カ)入所・通所者の咀嚼能力等の口腔機能及び栄養状態を適切に把握し、かたちのある食べ物を口から食べる楽しみを多職種で支援し、食事の付加価値を向上させる
(キ)水光熱費、食材料費の価格高騰に考慮した運営を行う。
2. 地域課題の解決に向けた取り組み
(ア)訪問看護ステーション細江では、聖隷三方原病院と連携し、浜松市北区・西区を中心に利用者支援をする。なおとらシートを活用したACPの継続を推進するとともに、特定行為の必要な利用者への支援を拡げる。
(イ)聖隷ヘルパーセンター浜松北では、細江、引佐、三方原、都田4地区を中心に引き続き地域ニーズに応じていく。またヘルパーセンターいなさと協働し、三ヶ日への進出を図る。
(ウ)聖隷ケアプランセンター細江では、聖隷三方原病院の病棟カンファレンスに参加して、訪問看護と連携し、ターミナルや医療依存度の高い利用者のコーディネートを行う。また、もくせいの里の事例検討会を開催し、先を見通した生活のコーディネートを提案する。
(エ)在宅福祉サービス事業所、通所事業所、相談支援事業所等が合同カンファレンスを定期的に行い、支援困難ケースを通じて実質的な連携に取り組み、課題解決の糸口を見出す。
(オ)聖隷厚生園まじわりの家では、意思疎通ができない利用者に対して感覚刺激を促す新たな支援を導入して、利用者満足度を向上させる。
(カ)西部特別支援学校からの体験実習を積極的に受け、卒業後に利用者やその家族が求める地域生活ができるように支援計画を提案する。
(キ)シオンハウスの今後の事業の方向性を協議し、具体的な動きにつなげる。
3. 利用者も職員も安心・快適に過ごせる施設環境の創造
(ア)ノーリフトケア推進を継続し、職員が長く働き続ける職場づくりに努める。
(イ)新たな支援記録・請求ソフト(ケアカルテ)を導入する。特にオーダー管理機能の活用を促進させ、業務効率化を図る。
(ウ)新型コロナウイルス等の感染症拡大の予防及び発生時マニュアルの整備、定期的な研修会等の実施に加えて訓練(シミュレーション)を行い、発生時に備える。
(エ)職員が利用者のためにやりたいことが実現できる自発的な活動を推進させる。
(オ)職員が働きやすい労働環境管理に努める。
(カ)レクリエーション機会を通じて、職員同士の交流を活性化させる。
4. 介護人材の確保と育成の取り組み
(ア)各専門職ラダー、コンピテンシー評価を活用し、職員の人材育成を図る。
(イ)人事企画部と連携し、EPA介護福祉士候補生の学習支援の強化を図る。
(ウ)聖隷クリストファー大学・介護専門学校等と連携し、実習及びインターンシップの受け入れを積極的に行い、養成校とともに将来の介護人材の育成に貢献する。
(エ)聖隷厚生園ナルド工房・聖隷ワース工房浜松学園と連携し、障がいをもつ方がやりがいをもって介護の仕事をしてもらえるように、障がい者雇用や就労継続支援の受け入れを積極的に行う。
5. 災害時対策・地域における公益的な取り組み
(ア)大規模災害時や感染拡大時にも事業が継続できるように、BCPを作成する。
(イ)地域の要請に応じて、災害等発生時には応援職員を派遣する。

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷厚生園讃栄

救護施設聖隷厚生園讃栄寮 生活訓練事業所ナルド 地域活動支援センターナルド
障害者相談支援事業所ナルド 福祉共同住宅ファーストステップ



久保 範

2023年度、聖隷厚生園讃栄では、障がいの多様化に伴い、幅広い利用者やその家族へサービスが提供できる体制を整え、一人でも多くの方に支援が行くことが求められている。

利用者に失敗させない支援ではなく、その失敗体験を次に活かせる支援を利用者と一緒に考え、自信を取り戻し、生活と向き合える働きかけを行っていく。また、個別性に視点を置いたアセスメントと専門職との連携により、利用者の生活を第一に考える。

聖隷厚生園讃栄寮においては「浜松市生活自立相談支援センターつながり」と協働し、コロナ禍において増加している生活困窮者など、制度の狭間で困っている方へのアプローチを模索する。

- 【経営方針】**
1. 救護施設聖隷厚生園讃栄寮と「浜松市生活自立相談支援センターつながり」が連携し、制度の狭間で困っている方を支援する
 2. 失敗を恐れず、その体験を活かせるよう一緒に考え、利用者の自信を再獲得する
 3. 専門職と連携し、個別性に着目した生活プログラムの実践を図る
 4. 幅広い利用者ニーズに対応できるよう多機関と協働し、人材育成に取り組む
 5. 記録ソフトやインカムなどICT機器を活用し、利用者や向き合う更なる時間を生み出す
 6. 地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 救護施設聖隷厚生園讃栄寮と「浜松市生活自立相談支援センターつながり」が連携し、制度の狭間で困っている方を支援する
(ア)生活保護受給者含む生活困窮者に対して、生活保護法に基づく日常生活支援住居施設(無料低額宿泊所)開設の準備に取り組む。
(イ)生活困窮者支援において、救護施設の機能強化として救護一時入所など緊急受入れに対応し、ニーズに応じて救護施設への正式入所や他サービスとの連携を図る。
(ウ)「浜松市生活自立相談支援センターつながり」と連携し、ケース会議に参加するなど、生活再建支援に参画する。
2. 失敗を恐れず、その体験を活かせるよう一緒に考え、利用者の自信を再獲得する
(ア)利用者がチャレンジできる機会として、地域移行訓練や調理実習などの実践的な支援を実施する。
(イ)利用者が主体的に開催できるような行事・企画を目指し、目的の明確化、能動的な運営方法に取り組む。
(ウ)感染対策を標準化したサークルやクラブ活動の再開、讃栄寮を退所された方への調理実習の機会提供など、利用者同士の自助作用に働きかけを行い、孤独・孤立を感じさせないような環境を整える。
3. 専門職と連携し、個別性に着目した個別支援プログラムの実践を図る
(ア)専門職の見立てと個別支援計画に基づいた運動機能評価、嚥下評価を行い、PDCAサイクルを実践する。
(イ)定期的な嚥下体操や口腔ケアの実践、適切な歯科受診や食形態の提供により、嚥下機能低下予防と窒息防止に取り組む。
(ウ)生活訓練事業所ナルドでは、多様化する地域ニーズに応える為、他サービス提供事業所と連携し、利用者の生活イメージを構築できるような障がい特性に合わせた個別又は集団支援を行う。
4. 幅広い利用者ニーズに対応できるよう多機関との連携と人材育成に取り組む
(ア)障害者相談支援事業所ナルドでは、幅広い地域ニーズに対応できる強みを活かし、利用者の将来的なニーズを受け止め、利用者及びサービス提供事業所と共に考え、協働する。
(イ)生活訓練事業所ナルドでは、多様化する障がい利用者を受け入れ、訪問支援も活用しながら在宅生活との結びつきを感じてもらえるよう、自身でできることを増やす支援を行う。
(ウ)福祉共同住宅ファーストステップでは、利用者の思いを確認しながら、他機関と連携した支援を展開し、利用者の一人暮らしを実現する。
5. 記録ソフトやインカムなどICT機器を活用し、利用者や向き合う更なる時間を生み出す
(ア)効果的な個別支援計画に基づいた支援をする為、新たな支援記録ソフトを活用する。
(イ)インカムや顔認証カメラなどを活用し、迅速な利用者対応と職員が安心して働ける環境を構築する。
6. 地域における公益的な取り組み
(ア)新型コロナウイルス感染症拡大時や大規模災害発生時などに、地域の要請に応じて職員派遣や福祉避難所の提供を行う。

2023年度 事業計画

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
就労支援事業所

聖隷厚生園ナルド工房

2022年度、聖隷厚生園ナルド工房では、地域ニーズの高い就労継続支援B型の定員を10名増員し、新たな利用者に就労を通じて地域の中で活躍できる機会を提供することができた。その反面、職業準備性に課題のある利用者が増えたことで、働く環境や作業意欲に対する課題が表面化してきている。

2023年度は、利用者が次のステップをイメージすることができるように、働くことへの安心感やモチベーションが高まる取り組みを行う。また、引き続き多くの利用者に働く機会を提供していくため、就労継続支援B型の定員をさらに5名増員するとともに新たな作業を開始する。



長谷川 展之

【経営方針】

1. 利用者の働くことへの安心感やモチベーションが高まる取り組み
2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み
3. 次世代を担う人材育成への取り組み
4. 地域における公益的な取り組み

【事業・運営計画】

1. 利用者の働くことへの安心感やモチベーションが高まる取り組み

- (ア) 新たな作業として床ワックスかけ作業を開始し、利用者が施設外に出て仕事ができる機会を拡大する。
- (イ) 利用者の働くモチベーション向上のため、作業検定による能力評価に加え、利用者の“日々のがんばり”を評価できる仕組み作りを行う。
- (ウ) 利用者の目標設定の場において、仕事の成果をわかりやすく伝えるため、障がい特性に合わせた視覚的確認ができる取り組みを行う。
- (エ) 利用者個々に合わせた仕事の環境への配慮、使いやすい治具等の工夫により、利用者が安心感をもって働くことができる環境整備に取り組む。
- (オ) 就職へのイメージが持てる目標設定支援を行うため、就労支援のグループワークでは、早期に企業見学や実習を行う。
- (カ) 虐待防止セルフチェックを年2回実施し、利用者への関わりを定期的に振り返り、利用者が安心して働くことができる環境作りに役立つ。

2. 利用者のステップアップを支える多職種・関連機関と協働した取り組み

- (ア) 利用者が仕事をする際の身体の姿勢等による働き難さの軽減を図るため、厚生園内の作業療法士と協働し、専門職の意見を交えた就労支援を展開する。
- (イ) 生活訓練事業所ナルドと協働し、利用者のステップアップや再チャレンジの仕組みを共有した目標設定を行う。
- (ウ) 「就労パスポート」(厚生労働省推進ツール)を活用し、利用者が働く上で、自分の特徴や希望する配慮を自ら整理ができるように支援する。また、企業担当者との情報共有の場で更新し、必要な支援を受けられる体制作りを行う。
- (エ) 特別支援学校の進路担当者との情報交換し、生徒・保護者が進路の見通しが立つようなアセスメントが行えるように、計画的かつ効果的な実習を行う。

3. 次世代を担う人材育成への取り組み

- (ア) eラーニングや外部研修、スキルラダーを活用し、利用者の障がい特性の理解や職業指導スキル向上を図る。
- (イ) 法律や制度に則ったサービス提供を遵守するため、定期的に勉強会を開催する。
- (ウ) 根拠に基づいた感染対策ができるように、実践を想定したロールプレイング訓練を実施する。
- (エ) 新たに導入されるケア記録システムの機能を活用し、業務の効率化を図るとともに捻出した時間を利用者支援に活かしていく。

4. 地域における公益的な取り組み

- (ア) 近隣の福祉施設に喫茶スペースを開放し、外出や交流の機会を提供する。

新しい仲間を ご紹介いたします

こんなこと
聞きました!

- ①趣味は?
- ②好きな季節は?
- ③その理由は?
- ④何でも一言!

信生寮 大橋くるみ



- ①歌うこと
- ②秋
- ③過ごしやすい
季節で金木犀のいい匂いがするから
- ④一生懸命頑張りますので
これからよろしくお願いします。

新卒

信生寮 大杉らら



- ①寝ること
- ②秋
- ③食欲の秋だから
- ④これからよろしくお願いします。

新卒

讃栄寮 近藤 尚崇



- ①ゴルフ
- ②春、秋
- ③桜が好きだから、
月が綺麗だから
- ④ご利用者中心の支援を学び、
実践できるように精進していきます!

新卒

讃栄寮 小池 楓子



- ①地下アイドルの
追っかけ、音楽を
聴くこと、睡眠
- ②秋
- ③涼しく、花粉も春より少ないため
- ④一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いいたします。

新卒

讃栄寮 上之平 通子



- ①サッカー観戦
立体折り紙
- ②春
- ③桜がきれい
- ④厚生園の一員になれるよう頑張ります。
よろしくお願いします。

信生寮 弥久保 泉



- ①こどもの
部活応援
- ②秋
- ③公園でピクニックに最適な季節
だからです。
- ④頑張ります。よろしくお願いします!

信生寮 三野 登美代



- ①散歩、買い物
- ②秋
- ③紅葉があり果物も
おいしくて、音楽が聞きたくなる
感情が揺さぶられる季節だから。
- ④年取った新人ですが、
がんばります。

信生寮 サンダー



- ①歌を歌うこと
です。
- ②春
- ③好きな桜を見られるからです。
- ④毎日笑顔で過ごしています。

信生寮 セイン



- ①アニメを見ること
- ②春
- ③さくらがたくさん咲いているので
とてもきれいで気持ちも楽に
なります。
- ④日本のラーメンが好きです。

信生寮 スワン



- ①写真をとること
- ②冬
- ③涼しくて雪が好きだからです。
- ④笑顔でご利用者のお世話を
したいです。

信生寮 シン



- ①音楽を聴くこと
- ②冬、秋
- ③暑いのが好きじゃないから
- ④なんでも楽しみにやりたいです。

信生寮 ドーナツ企画♡

ご利用者に食べたい種類を事前に選んでいただき、職員が購入する形で実施しました。沢山の笑顔が見られ、「また食べたい」と仰っていただけました。ドーナツは見た目にも可愛いお菓子です♡ 写真を撮るなどして楽しんでいる方もいらっしゃいました。



信生寮 いちごフェア♡

アイスやケーキ、パンケーキ等、いちごのスイーツフェアを開催しました！趣向を凝らしたスイーツの数々がずらりと並び、ご利用者の方々も大満足の様子でした！



信生寮 ビューティー企画♡

4つのコースから希望のものを選択して頂きました。普段お肌のケアをする機会が少ないご利用者に、この企画でお肌だけでなく気持ちの若返りも期待しました。今回のビューティー企画では職員とご利用者がゆっくり話すことができ、ご利用者の笑顔が引き出されました。肌の調子を気にしていなかった男性ご利用者が化粧品に興味を持つようになり、たくさん質問してくれました。次回のビューティー企画はいつになるかご利用者が楽しみに待っています。



- ◇ シートパック、化粧水・乳液で保湿
- 髭剃り、シートパック ◇
- ★ 手浴、ハンドマッサージ
- 足浴、フットマッサージ ☆

信生寮 節分企画♡

職員が鬼になって、信生寮に登場！「鬼は外、福は内！」の掛け声と共に、運動会で使う紅白玉で鬼退治しました。



信生寮 不在者投票

統一地方選挙の不在者投票を行いました。皆さんの真剣な表情です。大切な一票が反映されますように。



讃栄寮 遠足♡

地元でも意外に行っていない所！！

楽しみに待っていた3月3日は美しい朝焼けから始まりました。今日は讃栄寮の遠足です。今年は「地元でも意外に行っていない所」を巡りました。

10時に園を出発。館山寺でロープウェイに乗りました。終点からすぐに折り返し、次は遊覧船です。遊覧船ではカモメに餌をあげる体験をした方もいらっしゃいました。ある方はなぜかカモメにモテモテでした。動物園で昼食、その後待ちに待った浜名湖畔でのいちご狩りです。たくさん食べられた方、ハウスで赤く色づいた大きなたくさんの苺を見るだけで嬉しさと感動で心一杯になってしまい、食べるのはほんの少しだけの方もおられました。また、ご利用者も職員も「人生初めてのいちご狩り！」だった方も多数おられ、皆で心行くまで楽しい時を過ごしました。みっちり楽しんだ遠足、15時には園に帰ってきました。帰ってきた皆さまの笑顔は朝焼けのように美しくきらきら輝いていました。



厚生園の動き

2月

- 2/3 節分豆まき(信生寮)
- 2/15 ビューティー企画(信生寮)
- 2/15 おやつレク(信生寮)
- 2/22 焼き芋企画(信生寮)
- 2/26 外出企画 河津桜と早春ウォーキング(地活ナルド)
- 2/27 河津桜お花見(生訓ナルド)
- 2/28 喫茶企画 びいぶる(地活ナルド)
- 2/28 感染対策訓練(讃栄寮・地活ナルド)



節分企画！

4月

- 4/3 辞令交付式 新入職員オリエンテーション
- 4/5 統一地方選挙不在者投票(信生寮)
- 4/5 外出企画 いちご狩り(地活ナルド)
- 4/9 統一地方選挙不在者投票(讃栄寮)
- 4/11 リクエストメニュー企画(信生寮)
- 4/19 消防設備訓練(信生寮)
- 4/24 防災訓練(讃栄寮・生訓ナルド)
- 4/26 喫茶企画(地活ナルド)

3月

- 3/1 火災想定避難誘導訓練(信生寮)
- 3/1 交通安全教室(生訓ナルド)
- 3/3 遠足(讃栄寮)
- 3/6 そば打ち企画(信生寮・讃栄寮)
- 3/16 焼き芋企画(讃栄寮)
- 3/26 外出企画「徳川家康ゆかりの地を巡る 浜松の歴史体感ツアー第一回」(地活ナルド)
- 3/27 防災訓練(讃栄寮)
- 3/28 喫茶企画 Guu Guu Café(地活ナルド)



大好評！そば打ち企画！

食事企画！リクエストメニュー